



平成30年 4月27日

各 位

会社名 日本航空株式会社
代表者 代表取締役副社長執行役員 藤田 直志
(コード: 9201 東証第1部)
問合せ先 財務部長 木藤 祐一郎
(TEL 03-5460-3068)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年4月27日開催の取締役会において、下記のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は平成30年6月19日開催予定の第69期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成30年1月31日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基準日	平成30年3月31日	同左	平成29年3月31日
1株当たり配当金	57円50銭	52円50銭	94円00銭
配当金の総額	20,195百万円	—	33,236百万円
効力発生日(予定)	平成30年6月20日	—	平成29年6月23日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要事項のひとつとしてとらえており、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保を確保しつつ、継続的・安定的な配当を基本として、株主の皆さまへの利益還元を積極的に行うことを基本方針としております。

なお、当社は、配当に関する指標として、従来より使用している配当性向に加え、株主資本配当率(DOE)を採用することといたします。

配当性向としては、親会社株主に帰属する当期純利益から法人税等調整額の影響を除いた額の30%程度を目安といたします。また維持すべき株主資本利益率(ROE)の水準10%と上述の配当性向を勘案し、DOEについては3%以上となるように努めます。今後もより一層、資本効率の向上と安定的な株主還元の実現に努めてまいります。

この方針に基づき、2017年度の期末配当につきましては、1株当たり57円50銭を予定しております。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	52円50銭	57円50銭	110円00銭
前期実績 (平成29年3月期)	—	94円00銭	94円00銭

3. 2018年度の株主還元について

上述の方針に基づき、2018年度の配当金予想は1株当たり110円、うち中間配当予想は55円としております。

加えて、経済環境や当社の財務状況を見据え、自己株式取得などの追加的株主還元の実施や株主還元のさらなる充実についても、常に検討してまいります。

以上